

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

- ・意見は、原則として、市に提出された順に掲載しています。
- ・意見は原文のまま掲載しています。ただし、個人が識別できる情報等や、個人または法人その他の団体の権利や利益を害するおそれがあるときなどは、意見の表現の変更等を行っています。
- ・市の考え方において、平和都市宣言文（案）は、宣言文（案）と表します。また、平和都市宣言文は、宣言文と表します。
- ・平和都市宣言文（案）には、「平和」（「」つき）と平和（「」なし）がありますが、市の考え方において、その両方を「平和」と表します。

番号	意見	市の考え方
1	あきる野市役所企画政策課 御中 私は、広島で5歳の時に被爆しました。 永年の念願でもありました「平和都市宣言」が漸くあきる野市でも 発せられることを大変うれしく思います。 現在、東京都原爆被害者協議会に所属しており、あきる野市、日の出町及び 檜原村に在住する被爆者の援護活動をしております。 宣言文については、つぎのとおり私見を述べさせていただきます。 ・わたしたちが思う「平和」・・・ ➡ 願う ・世界から戦争が・・・ ➡ 地球上から ・そして 全ての核兵器と・・・ ➡ そして 地球上のすべての	『わたしたちが思う「平和」』を『わたしたちが願う「平和」』に変えることについては、市としましては、「考える」「望む」など、様々な意味を表す言葉として、「思う」が一番良いと考えています。 また、「世界から戦争が」を「地球上から戦争が」「全ての核兵器」を「地球上のすべての核兵器」に変えることについては、後に出てくる『世界が「平和」になることを求め』という表現とのつながりから、「世界から」という表現を使っています。
2	平和にするという気持ちがかもっていいと思う。	ご意見として承ります。
3	とてもいいとおもう	ご意見として承ります。
4	平和の尊さって何ですか？	「尊さ」は、「大切であること」「貴重であること」「とても価値があること」など、さまざまな意味を持つものです。 市としましては、この宣言文（案）では、『「平和」の尊さ』が一番良い表現であると考えていますので、宣言文を皆さんにお知らせするときに、尊さの説明書きを加えることにします。
5	「世界に彩どりを」みたいなかんじがいいとおもいますがどうでしょうか。	言葉のイメージとしてはとても良いと思いますが、市としましては、子どもから大人まで、皆さんがこの宣言文を読んだときに、分かりやすいものになりたいと考えていますので、「世界から戦争がなくなり」などの表現を使っています。
6	いいなと思った。	ご意見として承ります。
7	言葉の使い方がいいと思います	この宣言を子どもから大人までご理解いただけるよう、分かりやすい表現を心がけています。
8	いいと思います	ご意見として承ります。
9	戦争と原爆のことだけなので「殺人が少ない」などのほかのことも入れたほうが良いと思います。	令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。 こうしたことを考慮し、宣言文における「平和」は、「世界から核兵器と戦争や紛争がなくなり みんなが安心して暮らせること」としています。
10	「みんなが安全に暮らせることです」ともいい意見だと思います。「世界が平和になることを求め」自分たちでも探しながら	ご意見として承ります。
11	あきる野市だけではなく、世界の平和のことも書いてあるので、とてもいいと思います。	ご意見として承ります。
12	平和な都市	ご意見として承ります。
13	尊さという文字を小さい子供でも分かる簡単な字に変えてくれたらもっといろいろな人が分かりやすくなると思います	「尊さ」は、「大切であること」「貴重であること」「とても価値があること」など、さまざまな意味を持つものです。 市としましては、この宣言文（案）では、『「平和」の尊さ』が一番良い表現であると考えていますので、宣言文を皆さんにお知らせするときに、尊さの説明書きを加えることにします。
14	尊さと言う言葉が難しい	「尊さ」は、「大切であること」「貴重であること」「とても価値があること」など、さまざまな意味を持つものです。 市としましては、この宣言文（案）では、『「平和」の尊さ』が一番良い表現であると考えていますので、宣言文を皆さんにお知らせするときに、尊さの説明書きを加えることにします。
15	かつて原爆により想像も出来ないほど怖い体験をしましたの方がいいと思います	市としましては、原爆による体験において、「怖い」に合わせ、「おそれ（恐れ）」という感覚も表現したいと考え、「恐怖」を使っています。
16	「平和」は戦争だけではなく、障がい者差別なども関係あるのではないのでしょうか。いじめはありませんか？	令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。 こうしたことを考慮し、宣言文における「平和」は、「世界から核兵器と戦争や紛争がなくなり みんなが安心して暮らせること」としています。
17	もしかしたら原爆被害の写真とかも入れてみたらより恐ろしさがわかると思います。	宣言文は文章であるため、宣言文の中に写真などを入れることはしませんが、宣言文を皆さんにお知らせするときに、平和の大事さを伝えられるような写真などをつけることを考えます。
18	とてもいいと思う	ご意見として承ります。
19	みんなが宣言文を見て、喧嘩が少しでも無くなって、平和が広がるといいなと思います。	ご意見として承ります。

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

- ・意見は、原則として、市に提出された順に掲載しています。
- ・意見は原文のまま掲載しています。ただし、個人が識別できる情報等や、個人または法人その他の団体の権利や利益を害するおそれがあるときなどは、意見の表現の変更等を行っています。
- ・市の考え方において、平和都市宣言文（案）は、宣言文（案）と表します。また、平和都市宣言文は、宣言文と表します。
- ・平和都市宣言文（案）には、「平和」（「」つき）と平和（「」なし）がありますが、市の考え方において、その両方を「平和」と表します。

番号	意見	市の考え方
20	私も、世界を平和にしたいです！	ご意見として承ります。
21	平和の尊さという文の尊さという意味が分からないので分かりやすくした方がいいと思います。 すべての核兵器という文の核兵器という言葉が分からないので分かりやすくした方がいいと思います。	「尊さ」は、「大切であること」「貴重であること」「とても価値があること」など、さまざまな意味を持つものです。 市としましては、この宣言文（案）では、『「平和」の尊さ』が一番良い表現であると考えていますので、宣言文を皆さんにお知らせするときに、尊さの説明書きを加えることにします。 また、「核兵器」は、「核エネルギー」（核分裂や核融合の際に出るエネルギー）を利用した兵器のことで、広島と長崎で使われた核兵器は「原子爆弾」（原爆）です。原爆の威力は大変大きく、広島と長崎では、その結果、約21万人の人が亡くなりました。 市としましては、この宣言文において、核兵器という言葉を使う必要があると考えていますので、宣言文を皆さんにお知らせするときに、説明書きを加えることにします。
22	核兵器をもっと詳しくした方がいいと思います。 尊さも同じく↑	「核兵器」は、「核エネルギー」（核分裂や核融合の際に出るエネルギー）を利用した兵器のことで、広島と長崎で使われた核兵器は「原子爆弾」（原爆）です。原爆の威力は大変大きく、広島と長崎では、その結果、約21万人の人が亡くなりました。 市としましては、この宣言文において、核兵器という言葉を使う必要があると考えていますので、宣言文を皆さんにお知らせするときに、説明書きを加えることにします。 また、「尊さ」は、「大切であること」「貴重であること」「とても価値があること」など、さまざまな意味を持つものです。 市としましては、この宣言文（案）では、『「平和」の尊さ』が一番良い表現であると考えていますので、宣言文を皆さんにお知らせするときに、尊さの説明書きを加えることにします。
23	原爆のところとはばくだん きょうふのところは怖い 事実なこと 尊さは良さ 分かち合うところは分かりあう すべての核兵器と戦争がなくなりのは爆弾と争い へいはしのところはやさしいばしょ せんげんのははっぴょう	「原爆」を「ばくだん」に変えることについて、「原爆」は「原子爆弾」を短く表現した言葉で、市としましては、この宣言文において、原爆という言葉を使う必要があると考えていますので、宣言文を皆さんにお知らせするときに、核兵器と合わせて説明書きを加えることにします。 「きょうふ」を「怖い」に変えることについて、市としましては、原爆による体験において、「怖い」に合わせ、「おそれ（恐れ）」という感覚も表現したいと考え、「恐怖」を使っています。 「事実」を「こと」に変えることについて、「事実」は「実際にあったこと」という意味であり、市としましては、「実際にあったこと」を表現したいため、「事実」を使っています。 「尊さ」は、「大切であること」「貴重であること」「とても価値があること」など、さまざまな意味を持つものです。 市としましては、この宣言文（案）では、『「平和」の尊さ』が一番良い表現であると考えていますので、宣言文を皆さんにお知らせするときに、尊さの説明書きを加えることにします。 「分かち合う」を「分かりあう」に変えることについて、「分かち合う」は、「お互いに持っている」という意味で、「分かりあう」とは違う意味であり、市としましては、「お互いに持っている」ということを表現したいため、「分かち合う」を使っています。 「すべての核兵器」を「爆弾」に変えることについて、市としましては、この宣言文において、核兵器という言葉を使う必要があると考えています。また、「戦争」を「争い」に変更することについて、宣言文（案）における戦争には、国同士の戦争だけでなく、内戦やテロなども含めていましたが、「戦争」は、厳密に言えば、ある政治目的を達成するため、軍隊により、国同士が争うことであることから、宣言文（案）に内戦やテロを示すものとして「紛争」という言葉を加えます。 また、宣言文の紛争が内戦やテロなどを示すことについて、説明書きを加えることにします。 「平和都市」を「やさしいばしょ」に変えることについて、「平和都市」は、宣言文のタイトルにある言葉であることから、市としましては、宣言文（案）においても、「平和都市」を使っています。 「せんげん」を「はっぴょう」に変えることについて、「宣言」は、「考えなどを発表すること」であり、市としましては、「宣言」が一番良い表現であると考えています。
24	あきる野市平和都市宣言文(例)の内容はいいと思います。なぜかという、原爆や戦争を未来に伝えていくという内容がいいと思ったからです。	ご意見として承ります。
25	あきる野市が平和になるのはうれしいので、宣言文を通して平和を守りたいです	ご意見として承ります。
26	核兵器はどういう意味ですか？	「核兵器」は、「核エネルギー」（核分裂や核融合の際に出るエネルギー）を利用した兵器のことで、広島と長崎で使われた核兵器は「原子爆弾」（原爆）です。原爆の威力は大変大きく、広島と長崎では、その結果、約21万人の人が亡くなりました。 市としましては、この宣言文において、核兵器という言葉を使う必要があると考えていますので、宣言文を皆さんにお知らせするときに、説明書きを加えることにします。
27	平和の言葉はいいと思います！戦争とがないことが一番だと思うからです！戦争は、無くなってほしいです！	ご意見として承ります。
28	文章中の平和都市って何ですか	令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。 こうしたことを考慮し、宣言文における「平和」は、「世界から核兵器と戦争や紛争がなくなり みんなが安心して暮らせること」としています。 平和都市は、この「平和」を求めていく都市という意味です。
29	戦争の事実を忘れずに未来に伝えることはいいと思います。	ご意見として承ります。
30	平和になってほしいし、戦争もなくなってほしいので、あきる野市平和都市宣伝はいいと思います！	ご意見として承ります。
31	最後に宣言をしているところが良いと思いました。私は戦争を実際に体験したことがないですが、やはり平和は大事だと思うし、改めて戦争は良くないと思いました。	ご意見として承ります。
32	私が思う平和は戦争がなくなってみんなが安心して暮らせること	ご意見として承ります。

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

- ・意見は、原則として、市に提出された順に掲載しています。
- ・意見は原文のまま掲載しています。ただし、個人が識別できる情報等や、個人または法人その他の団体の権利や利益を害するおそれがあるときなどは、意見の表現の変更等を行っています。
- ・市の考え方において、平和都市宣言文（案）は、宣言文（案）と表します。また、平和都市宣言文は、宣言文と表します。
- ・平和都市宣言文（案）には、「平和」（「」つき）と平和（「」なし）がありますが、市の考え方において、その両方を「平和」と表します。

番号	意見	市の考え方
33	戦争しない	ご意見として承ります。
34	私たちが思う平和は世界から戦争がなくなって誰も死なないで安全に過ごせることです	ご意見として承ります。
35	私たちは「平和」の尊さを理解し多くの人と分かち合うことを大切にしていきたいです。の部分がいい言葉だともうので宣言文に入れたほうがいいと思います	「尊さ」は、「大切であること」「貴重であること」「とても価値があること」など、さまざまな意味を持つものです。市としましては、この宣言文（案）では、『「平和」の尊さ』が一番良い表現であると考えていますので、宣言文を皆さんにお知らせするときに、尊さの説明書きを加えることにします。
36	すごくいいと思います。戦争がなくなることはいいことだと思うのでいい宣言だと思います。でも(平和の尊さ)の意味がよくわかりません	「尊さ」は、「大切であること」「貴重であること」「とても価値があること」など、さまざまな意味を持つものです。市としましては、この宣言文（案）では、『「平和」の尊さ』が一番良い表現であると考えていますので、宣言文を皆さんにお知らせするときに、尊さの説明書きを加えることにします。
37	かつて原爆のところがかつてふたつの原爆に変えたほうがいいと思った	市としましては、原爆による影響を端的に表現するために、宣言文（案）において、2回の原爆投下を合わせて表現し、また、あえて原爆が使われたときのことのみを示しておりました。しかしながら、原爆による影響は非常に大きいものであり、その影響が現在も続いていることを分かりやすく示すため、原爆による苦しみや影響が今も続いていることを加えます。
38	私も戦争がなくなりみんなが安心して暮らせることがいいと思います	ご意見として承ります。
39	昔多くの人が戦争にあって苦しい思いをしていたんだと思いました。これからは戦争がなくなって安心して暮らせるように戦争はなくなってほしいです。	ご意見として承ります。
40	戦争がなくなり みんなが安心して暮らせるってことがいいと思いました	ご意見として承ります。
41	かつて原爆により想像もできない恐怖を体験しましたこの事実を忘れずに未来に伝えていくことが私たちのつめですがよかったです	ご意見として承ります。
42	平和はみんながあんしんしてくらせること というのがいいとおもいます	ご意見として承ります。
43	意見 宣言文中の【わたしたちは「平和」の尊さを理解し 多くの人と分かち合うことを大切にしていきたいですそして 全ての核兵器と戦争がなくなり 世界が「平和」になることを求めここにあきる野市が平和都市であることを宣言します】 上記文中の 全ての核兵器と戦争がなくなり を削除 すべきだと思います。 理由 1 我が国は唯一の核被爆国です。我が国はあのような惨禍をさけるために核武装する権利がありますが、この宣言は我が国が自らこの権利を放棄することに他なりません。私たちの時代に、平和ボケの宣言をして、将来に禍根を残すことがあってはなりません。我が国の政府見解では「自衛のために必要最小限度となる核兵器であれば、それを保有することは、必ずしも憲法の禁止するところではない」と示されています。 2 あきる野市立小・中学校でこの宣言を紹介すると思いますが、核兵器に対する政府見解（上記）と異なる誤ったことを教員が教える懸念があります。子供たちには我が国や国民を護る必要性を教育すべきで、反核運動では国が護れないという現実を教育していただきたい。また、ウクライナは核を放棄したためロシアに侵略された事実を教えるべきだと思います。 質問 1 国連常任理事国のロシア・中国・米国・英国・仏国の五か国とインド・パキスタン・さらに北朝鮮等の国家は核兵器を保有しています。彼らは核を放棄することはないでしょう。平和都市宣言をした場合、あきる野市は核保有国に対しどのような行動をするのでしょうか？特に中国・北朝鮮・ロシアに対して。 2 この宣言はあきる野市民が誰に対して行うのですか？ 3 日本非核都市宣言自治体協議会には加入するのでしょうか？令和5年度の年会費は年6万円、市民に直接関係ない出費は無駄だと思いますが如何でしょうか。以上 宜しくお願いします。	理由の1について、そのような政府見解が示されたことは、市としても承知しております。令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。この宣言は、「平和」を求めるものでありますので、自衛に関することと、分けて考える必要があると考えています。 質問へのお答えは次のとおりです。 1 核実験など、市の平和に影響がある行いがあった場合は、抗議することなどを検討します。また、市は、平和首長会議に加盟（参加）していますので、この平和首長会議を通じて、平和に関する取組などを行ってまいります。 2 この宣言は、市の平和の考え方を、市内外に示すものです。 3 日本非核宣言自治体協議会との関わりは、この宣言とは別に考えてまいります。
44	市民が自由に過ごせる環境にする	ご意見として承ります。
45	電話番号など、子供はわからないことがあるので、学校の電話番号にしてください。	ご意見として承ります。
46	平和は誰もが祈っていることなのがいいと思いました。	ご意見として承ります。
47	「みんなが安心して暮らせることです」のところに、「みんな幸せ」を入れて、「みんなが安心して、みんなが幸せに暮らせることです」にするとよいと思います。	「みんなが安心して暮らせること」という表現の中には、「幸せに暮らす」という考えも含めています。

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

- ・意見は、原則として、市に提出された順に掲載しています。
- ・意見は原文のまま掲載しています。ただし、個人が識別できる情報等や、個人または法人その他の団体の権利や利益を害するおそれがあるときなどは、意見の表現の変更等を行っています。
- ・市の考え方において、平和都市宣言文（案）は、宣言文（案）と表します。また、平和都市宣言文は、宣言文と表します。
- ・平和都市宣言文（案）には、「平和」（「」つき）と平和（「」なし）がありますが、市の考え方において、その両方を「平和」と表します。

番号	意見	市の考え方
48	自然が多くとても暮らしやすいです。	ご意見として承ります。
49	平和ほ象徴	ご意見として承ります。
50	平和じゃなくなると、いろいろ大変なことが起きるので、宣言文をとおして平和になってくれたらうれしいです。	ご意見として承ります。
51	この文には文句はありません。とてもいい文だと思います。	ご意見として承ります。
52	「命の尊さ」という言葉を入れてみたらどうでしょうか	「みんなが安心して暮らせること」という表現の中には、「命の心配がなく暮らせる」という考えも含めています。
53	「平和」は、戦争だけが無くなることではないと思います。戦争が無くなっても人種差別をしていたら、それは平和とは言わないと思います。すべての人が分かち合うのは、人種差別や戦争などが無くなってからだと思います。だから、「すべての核兵器と戦争が」の後に「人種差別」も入れることを提案します。	令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。こうしたことを考慮し、宣言文における「平和」は、「世界から核兵器と戦争や紛争がなくなり みんなが安心して暮らせること」としています。
54	安心という言葉を入れてみてもいいと思う	「みんなが安心して暮らせること」の中に、「安心」という言葉を入れています。
55	日本が体験した、恐怖を言えばいいのはいいのでは、！「一」したいことを言えばいいのでは	宣言文（案）では、現在から未来に向け、核兵器がなく、戦争がなく、みんなが安心して暮らせる「平和」の実現を求める考えを表すことを基本としています。ただし、日本がただ一つの戦争被爆国（戦争で核兵器が使われた国）であり、過去に原爆が使われたことを示すことで、核兵器がなくなることを求めていくことをより強く表現しています。
56	世界から戦争がなくなり、ではなく 世界から戦争や争いの方がいいと思います。	市としましては、宣言文（案）における戦争には、国同士の戦争だけでなく、内戦やテロなども含めています。しかしながら、「戦争」は、厳密に言えば、ある政治目的を達成するため、軍隊により、国同士が争うことであることから、宣言文（案）に内戦やテロを示すものとして「紛争」という言葉を加えます。また、宣言文の紛争が内戦やテロなどを示すことについて、説明書きを加えることにします。
57	特にありません。	ご意見として承ります。
58	戦争等の被害を詳しく知らない人がいるのではないのでしょうか 戦争のことについても宣言文に入れるのであれば、戦争のことについて知ってもえるような資料を作成したり、戦争のことについて生徒に話す機会を作ったほうが良いと思いました。	市では、毎年8月に、戦時中の写真や、戦争体験談などの貴重な記録を展示する平和パネル展を行い、戦争のことを知ってもらえる取組をしています。また、小中学校では、学習の一つとして、平和を学ぶ学習をしています。
59	平和都市宣言をつくるのはとてもいいと思います。 言葉もそのままでもいいと思います。	ご意見として承ります。
60	「原爆により想像もできない恐怖を体験しました」のところが説得力があっていいなと思いました。	ご意見として承ります。
61	・平和宣言を出すことは大賛成です。パブリックコメントで広く市民の意見を聞いてくれるのも良いし、小中学校に赴いて意見募集をされたのことも、素晴らしいと思います。次世代を担う子供たちに平和や戦争について考えてもらう良い機会になると思います。 賛成であることを踏まえて、下記は文言やこの宣言の運用についての意見と要望です。 ・宣言文案に「わたしたちの国は かつて原爆による想像もできない恐怖を体験しました」といわば被害者かのような表現があるが、先の大戦で日本は加害者(他国に戦争をしかけた国・侵略者)でもあったので、加害を顧みたら上で、核兵器を含めたあらゆる戦争・紛争を否定する、という内容にしてほしい。 例：広島死没者慰霊碑の言葉「安らかに眠って下さい 過ちは繰返させぬから」→戦争(を起す)過ち ・宣言後半の平和を「求める」では弱いと思う。できたら平和を「誓う」といったより強い言葉にてほしい。その理由は下記 ・この宣言が、今後市内で戦争につながるような動きがあった時にそれを止めること、他の自治体や国で同様の動き(現在日本政府は「防衛力強化」の名のもとにその動きが活性化しており私はとても危機感を持っています)を諫めることを後押しする後ろ盾になると良いです。宣言しただけではなく、市長はじめ市職員や市民にも「宣言」をよく読んでもらい、その宣言のもとに行動してほしい。	「かつて原爆による想像もできない恐怖を体験しました」という表現について、市としましても、単に「被害を受けた」という印象にならないよう配慮し、事実を記載するよう心がけています。また、原爆による影響を端的に表現するために、宣言文（案）において、あえて原爆が使われたときのことのみを示しておりました。しかしながら、原爆による影響は非常に大きいものであり、その影響が現在も続いていることを分かりやすく示すため、原爆による苦しみや影響が今も続いていることを加えます。宣言文（案）では、現在から未来に向け、核兵器がなく、戦争がなく、みんなが安心して暮らせる「平和」の実現を求める考えを表すことを基本としています。ただし、日本がただ一つの戦争被爆国（戦争で核兵器が使われた国）であり、過去に原爆が使われたことを示すことで、核兵器がなくなることを求めていくことをより強く表しています。また、「求める」を「誓う」に変えることについては、『世界が「平和」になること』を実現するためには、世界各国の理解と協力が必要であることから、「求める」としています。
62	世界から戦争がなくなり・・・の部分あきる野市ができることを先にやってみるのはどうでしょう？	市としましては、宣言を通じて、市内外で、本市の「平和」の考え方を分かち合いたいと考えています。
63	「この事実を忘れず未来に伝えていくこと」⇒あきる野市として具体的にどのようにするのか、明記希望します。 例) 義務教育を通して伝えていきます。 「恐怖を体験しました」⇒「被害を受け、その影響は長く続きます」へ修正。長く核兵器の影響があることを子供たちにも理解してもらうため。	市としましては、宣言を通じて、市内外で、本市の「平和」の考え方を分かち合いたいと考えています。原爆について、市としましては、原爆による影響を端的に表現するために、宣言文（案）において、あえて原爆が使われたときのことのみを示しておりました。しかしながら、原爆による影響は非常に大きいものであり、その影響が現在も続いていることを分かりやすく示すため、原爆による苦しみや影響が今も続いていることを加えます。
64	あきる野市平和都市宣言 ➡ あきる野市非核平和都市宣言 に訂正 理由は「非核」を加えることで核兵器利用による戦争をさせない意思表明 世界から戦争がなくなり ➡ 世界から全ての核兵器を廃絶し戦争がなくなることで みんなが安心して… に訂正 理由は核兵器をどの国も廃絶しないと危険は続くため	令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。

- ・意見は、原則として、市に提出された順に掲載しています。
- ・意見は原文のまま掲載しています。ただし、個人が識別できる情報等や、個人または法人その他の団体の権利や利益を害するおそれがあるときなどは、意見の表現の変更等をしています。
- ・市の考え方において、平和都市宣言文（案）は、宣言文（案）と表します。また、平和都市宣言文は、宣言文と表します。
- ・平和都市宣言文（案）には、「平和」（「」つき）と平和（「」なし）がありますが、市の考え方において、その両方を「平和」と表します。

番号	意見	市の考え方
65	平和都市宣言文案中第三行目から五行目まで削除 の方がより多くの人の賛同が得られると思う。1939ねん生まれ、年々少なくなる太平洋戦争を体験（生きた）者。ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガザ地区攻撃、そのほかの武力紛争に反対します。	日本がただ一つの戦争被爆国（戦争で核兵器が使われた国）であり、過去に原爆が使われたことを示すことで、核兵器がなくなること
66	まだ戦争があるので他の市や県と協力して実現できたらいいなと思いました	当市は、平和首長会議に加盟（参加）していますので、この平和首長会議を通じて、平和に関する取組などを行っていきます。
	<p>意見：宣言文（案）の題名は「あきる野市非核平和都市宣言」にもどしてください。</p> <p>(1) 市議会では、合併後の1995年12月議会で鈴木富雄議員が「非核平和都市宣言」を一般質問で取り上げています。その後1998年9月に影山保議員が一般質問で取り上げてから、2019年12月、村木市長が「次期総合計画の策定を控え…市みずからが核兵器廃絶の姿勢を内外に示す非核平和都市宣言を行いたいと考えております」と答弁するまでに、3代の市長が、12回にわたって一般質問で「非核平和都市宣言」の発出が問われてきました。それらの質問は、フランス・中国の核実験、インド・パキスタンの核実験、朝鮮半島の非核化をめぐる6カ国協議、オバマ大統領のブラハ演説、北朝鮮の地下核実験、フランススコ教皇の長崎・広島訪問などを受けてのもので、「非核」が質疑応答の焦点でした。田中雅夫市長・白井孝市長が、自治体として「非核平和都市宣言」を発する必要が無いと答弁した主な根拠は、「あきる野市民憲章」の存在でした。2009年9月の田中市長答弁では、「あきる野市民憲章の中では、『一人ひとりを互いに尊重し、社会のきまりを守りつつ、つねに世界に心をひらいて前進する、連帯感あふれる明るいまちをつくります』と、世界平和や人権尊重をうたっており…」とあります。あきる野市民憲章に記載されておらず、新たに加えて宣言すべき内容は、被爆の体験であり、核兵器がなくなること、「非核」の内容です。</p> <p>(2) 村木英幸市長は、「市民の皆様が安心して本市で暮らしていただくためには、平和を脅かす核兵器の廃絶が必要不可欠であります」としてしました。第2次総合計画でも当然のこととして「非核平和都市宣言」としてアンケートを実施し、計画を記述してきました。さらに中嶋博幸市長となってからの2022年、2023年の3回の市議会での関口江利子議員・しょうじさとし議員の応答も、一貫して「非核平和都市宣言」として議論されています。これらの市側（企画政策部長・企画政策課長）の答弁において、村木市長の答弁を変更、再検討する発言はありません。また2025年1月5日に中嶋市長名で示された「市政情報一部公開通知書」では、「宣言文（案）題名の変更にかかわる」検討過程資料は「不存在」とされました。つまり2023年9月以降の担当部課での宣言文（案）の起草と検討の過程で、題名を変更するという真面目な議論がされ、意味ある合理的な理由があつて題名変更がなされたとは考えられません。さらに『広報あきる野 N0731』には、「市は、自らが戦争の悲劇を繰り返さず、核兵器の廃絶と世界の平和を訴えつづける必要があることから、第2次総合計画に基づき、非核平和都市宣言を決定し、発信することとしています。」と記しています。そこからまとめられた宣言文（案）が「あきる野市平和都市宣言」となっていることは、脱字に類する誤りとしか詫めません。なお広島市は、「平和記念都市」とされているが、この名称は占領下1949年に制定された特別法『広島平和記念都市建設法』に拠るものです。1975年には、「核兵器廃絶広島平和都市宣言」を決議しています。また長崎市は、1989年に「長崎市民平和憲章」を定めています。これは、「私たちは、原爆被爆都市の使命として、核兵器の脅威を世界に訴え、世界の人々と力を合わせて核兵器の廃絶に努めます」とあり、「非核」を薄めるものではありません。名は体を表します。過ちては改むるに憚ること勿れと言います。今次の宣言文（案）には、「かつて原爆により想像もできない恐怖を体験しました」「すべての核兵器と戦争がなくなり」と、不十分ながら「非核」の内容が明記されています。その内容に即した題名にもどした方がよいと考えます。</p> <p>(3) 核兵器禁止条約が2021年1月に発効し、2023年12月の第2回締結国会議には批准国59カ国とオブザーバー参加35カ国しました。日本政府は不参加でしたが、国政政党では立民党・公明党・共産党・れいわ新選組・社民党が、日本政府のオブザーバー参加を求めています。直近2023年8月の世論調査では、国民の61%が「核兵器禁止条約に参加する方がよい」と回答しています（日本世論調査会「平和に関する全国郵送世論調査」）。他方、2023年5月、核抑止・核威嚇を振りかざすG7サミット「広島宣言」が発出され、広島市長等の厳しい批判を受けました。プーチン大統領によるウクライナに対する核威嚇、イスラエル閣僚によるガザへの「核攻撃」発言と、核兵器使用の危険が高まっています。2023年、世界終末時計は90秒前を指している。そのような年に、あきる野市の長年の懸案であった非核平和都市宣言が発信されることの意義は大きい。以上の理由から、宣言文（案）の題名を「平和都市宣言」ではなく、「非核平和都市宣言」にもどすことが妥当だと考えます。</p> <p>意見；宣言文（案）を次の1.～4.のように修正してください。 1. 2行目（平和は）「安心して暮らせることです」の前に「人間らしく」を挿入する 2. 1行目・8行目の〈「平和」〉の「」を外し（平和）とする 3. 4行目「かつて原爆による…恐怖を体験しました」の次に、行を変え「この地域でも銃撃を受けた人 兵士として外国で亡くなった人も少なくありません」「その後世界では 水爆の開発や実験による たくさんの被害者も出ています」の2行を加える 4. 8行目をまとめなおして、「そして すべての核兵器をなくし 戦争のない平和な世界になることを求め」とあらためる あきる野市非核平和都市宣言 宣言文（案） わたしたちが思う平和は 世界から戦争がなくなり みんなが 人間らしく 安心して暮らせることです わたしたちの国は かつて原爆による想像もできない恐怖を体験しました この地域でも 銃撃を受けた人 兵士として外国で亡くなった人も少なくありません その後 世界では 水爆の開発や実験による たくさんの被害者も出ています この事実を忘れず 未来に伝えていくことが わたしたちのつとめです わたしたちは 平和の尊さを理解し 多くの人と分かち合うことを大切にしていきます そして すべての核兵器をなくし 戦争のない平和な 世界が平和になることを求め ここに あきる野市が非核平和都市であることを宣言します 修正宣言文（案） 268文字 (1) 私は戦後、広島県の東部の因島市（現在は尾道市に編入）で生まれました。戦争中、父が広島市に出張することも多かったので、母は「もし原爆が投下されたときに市内にいたら被爆死していたかも知れない」と、他人事ではない恐怖をしばしば語っていました。「原爆マグロ」、映画「千羽鶴」、米ソの核実験による「放射能の雨」、キューバ危機の記憶は、私の中にいまでも生々しく残っています。核兵器禁止条約発効し調印・批准国が広がるなかで、核抑止・核威嚇を振りかざすG7サミット「広島宣言」が発出されました。プーチン大統領によるウクライナに対する核威嚇、イスラエル閣僚によるガザへの核攻撃発言と、核兵器使用の危険が高まっています。そのような現在、あきる野市の長年の懸案であった非核平和都市宣言が発信されることの意義はとて大きいと想います。パブリックコメントによせられる市</p>	<p>(1)～(3) 令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「核兵器がなくなること」「戦争がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における「平和」に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の「平和」の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p> <p>1 「人間らしく」を追加することについては、「安心して暮らせる」という表現の中に、「人間らしく暮らす」という考えも含めています。</p> <p>2 かぎ括弧を付けた「平和」は、宣言文（案）における「平和」の考え方（「核兵器がなく」「戦争がなく」「みんなが安心して暮らせること」）を表しています。なお、「平和都市」は一つの言葉であることから、平和にかぎ括弧をつけていませんが、宣言文（案）における「平和」と同じ意味を示しています。</p> <p>3 「この地域でも銃撃を受けた人 兵士として外国で亡くなった人も少なくありません」「その後世界では 水爆の開発や実験による たくさんの被害者も出ています」の2行を加えることについては、宣言文（案）では、現在から未来に向け、核兵器がなく、戦争がなく、みんなが安心して暮らせる「平和」の実現を求める考えを表すことを基本としています。ただし、日本がただ一つの戦争被爆国（戦争で核兵器が使われた国）であり、過去に原爆が使われたことを示すことで、核兵器がなくなること</p> <p>4 8行目をまとめなおして、「そして すべての核兵器をなくし 戦争のない平和な世界になることを求め」にあらためることについては、宣言文（案）では、「核兵器がなく」「戦争がなく」「みんなが安心して暮らせること」が揃った状態を「平和」としています。</p> <p>(4) 戦争による被害については、宣言文（案）では、現在から未来に向け、核兵器がなく、戦争がなく、みんなが安心して暮らせる「平和」の実現を求める考えを表すことを基本としています。</p> <p>(5) 市としましては、原爆による影響を端的に表現するために、宣言文（案）において、あえて原爆が使われたときのこのみを示しておりました。しかしながら、原爆による影響は非常に大きいものであり、その影響が現在も続いていることを分かりやすく示すため、原爆による苦しみや影響が今も続いていることを加えます。</p> <p>(6) 核兵器と戦争の分離については、宣言文（案）においても、「核兵器がなく」「戦争がなく」「みんなが安心して暮らせること」が揃った状態を「平和」としています。</p>

- ・意見は、原則として、市に提出された順に掲載しています。
- ・意見は原文のまま掲載しています。ただし、個人が識別できる情報等や、個人または法人その他の団体の権利や利益を害するおそれがあるときなどは、意見の表現の変更等を行っています。
- ・市の考え方において、平和都市宣言文（案）は、宣言文（案）と表します。また、平和都市宣言文は、宣言文と表します。
- ・平和都市宣言文（案）には、「平和」（「」つき）と平和（「」なし）がありますが、市の考え方において、その両方を「平和」と表します。

番号	意見	市の考え方
67	<p>民の声を活かして、よりよい宣言となることを願っています。またパブリックコメント結果の発表に際しては、意見提出書の本意を損なわず、意見に対する市の見解が明確になるように望みます。</p> <p>(2) この度の宣言文（案）が、「子どもから大人まで共有できるよう、分かりやすい表現で」起草されていることは大事なことです。しかし平易であることと安易であることは異なります。小中学生が、自分の力で読みすすめられる平易な文章であることは評価できます。しかし同時に、学校や義務教育修了後の学習や体験の中で、このような意味も含まれていたのか、こんな想いも込められていたのかと深く読み取れるものであることも必要です。</p> <p>宣言文（案）の作成過程で参照した資料などの情報開示を請求し（市政情報一部公開決定通知書・あ企企収第 94 号令和 6 年 1 月 4 日）、担当者の説明を聞いて愕然としました。公開された資料は、「令和 4 年度市民アンケート調査」以外では、「非核平和都市宣言」等を発信している都内 23 区 25 市と「最近の市区町村」とされる 11 市町の宣言文と、学習指導要領の「学年別漢字配当表」だけでした。</p> <p>8 月 14 日に担当者 2 人に宣言文（案）起草について 10 点のポイントを示し、十分な検討を要請しました。2 人はそのとき 1 階で展示されていた総務課の「あきる野 戦争体験記」にも収録されている「五日市線列車襲撃」「海老沢寮襲撃」についても、その時点では未見でした。今年 1 月 5 日の時点でも、『秋川市史』『五日市町史』は読んでいないとのことでした。秋川遺族会や秋川の戦争を語りつぐ会の発行物の存在も知りませんでした。</p> <p>さらに 2 人は、広島平和祈念資料館・長崎原爆資料館・都立第五福竜丸展示館に行ったこともなく、WEB 等でその常設展示について調べたこともなかったようです。長崎・広島の資料館の近年の展示内容の豊富化、深化は大きく、長い射程・国際的な視野で核兵器を捉え直すものとなっています。また国際連合憲章、核兵器不拡散条約（NPT）、中距離核戦力廃止条約（INF）、核兵器禁止条約（TPNW）の条文や意味を確認した様子もうかがえませんでした。</p> <p>そして、宣言文（案）の起草について会議体は作られなかったとのこと。起草の過程で、被爆者や戦争体験者のお話を聞くこともなく、学識経験者や平和や核廃絶について長く課題として取り組んでいた人の意見も聞くこともありませんでした。結局、少数の担当者が、既存の区市町村の宣言文を分析し、市民アンケート（このアンケートの選択肢も当時の市職員が作成）と照らし合わせ、推敲してできたのが、この宣言文（案）のようです。</p> <p>これは平易な文章というより、安易にまとめられた文章と言わざるをえません。この不十分さを補うチャンスは、パブリックコメントとして寄せられた意見をきちんと読みとること、市議会の審議に真摯に臨むことしかないようです。</p> <p>(3) 「人間らしく」の挿入、「」を外す</p> <p>宣言文（案）の「みんなが安心して暮らせること」は大事なフレーズです。平和とは、ただ武力の行使、戦争が行われていない状態ではありません。日本国憲法前文の平和的生存権にもつながる言葉です。国際的には積極的平和（Positive Peace）の理解が広がっています。平和学者ヨハン・ガルトウングが 1958 年に提唱した概念で、戦争の原因となる構造的暴力がない状態であるとしています。1978 年 12 月国連総会で採択された、「平和に生きる社会の準備に関する宣言」では、「各国民と各人は、人種、思想、言語、性による別なく、平和に生きる固有の権利（inherent right to life in peace）を有する」と表現されています。</p> <p>いっぽう家畜が処分の対象にされるまではストレスなく、苦痛を最小限にし安心して飼育管理されることも重視されるようになっていきます（アニマル・ウェルフェア）。国民が分断差別され、一部の選ばれた者が安楽に暮らす国家が、戦争を準備した歴史もありました。これと区別するために「人間らしく」を加えたいと考えます。これは日本国憲法 13 条「個人として尊重される」14 条「法の下で平等であつて…差別されない」ことを含意しています。</p> <p>（「平和」）という表記は誤解を招きます。宣言文（案）の平和は、日本国民だけの平和、あきる野市民だけで通用する平和、国際法や日本国憲法以外の何か特別な意味を込めた平和であってはならないと思います。「」なしの平和を宣言することによって、あきる野市から全世界へ、平和のメッセージを伝えることができると思います。区市町村の宣言で「」つき平和を用いたものがあるのでしょうか？</p> <p>(4) 「この地域」</p> <p>「非核平和都市宣言」は現代において無視できない核兵器の禁止・廃絶に向き合おうとするものです。しかし 1945 年 8 月 6 日・9 日の米国に原爆攻撃は、日本が始めた満州事変・日中戦争・アジア太平洋戦争の一つの帰結でした。1944 年末からほとんどの都市、町が爆撃を受け、艦載機などによる銃撃を受けて多くの人が死亡しています。あきる野での戦争被害は、地域への銃撃・爆撃と地域から召集され国外で戦死戦病死餓死、罹病負傷した兵士の被害です。日本の死者 310 万人、侵略を受けた中国などアジア太平洋戦域での死者は 2000 万以上と言われています。</p> <p>他地区から移住してきた市民も多いなか、地域での戦争被害、犠牲を知り、継承していくことは極めて大切です。「この地域でも 銃撃を受けた人 兵士として外国で亡くなった人も 少なくありません」を手掛かりに、小中学校での学習や戦争体験継承、家族の体験の継承がすすめられるとよいと考えます。</p> <p>(5) 「その後 世界では」</p> <p>宣言文（案）では、「かつて 原爆による…恐怖」だけに限定されています。第 1 に、広島・長崎で被爆した方々の苦しみや恐怖は、いまでも続いており過去のものにはなっていません。放射能症がもつ特別な非人道性です。第 2 に、核兵器による被爆は、1945 年 8 月（7 月 16 日、ニューメキシコ州核実験場も含め）が最期ではありませんでした。</p> <p>戦後のアメリカ・ソ連・イギリス・フランス・中国とその他の核保有国における核兵器開発・実験により、多くの HIBAKUSHA が生みだされました。1954 年 3 月 1 日、ビキニ環礁での第五福竜丸の被ばく、久保山愛吉さんの死は、当時の日本国民にとって大きな衝撃でした。しかしこの時、マーシャル諸島のロングラップ島などの住民も被ばくし、2 世 3 世代の犠牲者も出ています。日本における原水爆禁止運動はこの衝撃から始まったといえます。今年はこのビキニ事件から 70 年に当たります。</p> <p>長崎原爆資料館の常設展示（2017 年リニューアル）は「C-3 核兵器の時代」「C-4 現代の核兵器」「C-5 核兵器開発・実験の被害者達」と構成されており、「核兵器は使われている」マーシャル諸島・カザフスタンはじめ世界の各地に HIBAKUSHA が生みだされていることがヴァジュアルに示されています。</p> <p>核兵器禁止条約は、第 6 条において「核兵器の使用又は実験によって影響を受けるものについて、適用可能な国際人道法及び国際人権法に従い、差別なく、年齢及び性別 に配慮した援助を適切に提供」することを規定しています。</p> <p>広島・長崎の原爆被害だけでなく、非核の問題を考えるのでは、核兵器の禁止が全世界の課題となっていることを見取り、世界から目をそらすことになるでしょう。</p> <p>その意味で、「その後 世界では 水爆の開発や実験による たくさんの被害者もう出ています」を加えることが必要です。</p> <p>(6) 「核兵器と戦争」の分離</p> <p>核兵器も、戦争も、一刻も早く世界からなくしたいと言う願いは、だれもがもつ願いです。しかし、戦争は人類の文明とともに始まり 5000 年以上も続いています。一方核兵器は 1945 年 7 月の実験によって実用化され、その歴史は 79 年目になります。広島・長崎の被爆者の方は「自分たちの目の黒い間に核兵器を廃絶させたい」「子や孫の時代には残さない」と願っています。核兵器禁止条約の発効は「核兵器の終わりの始まり」とも捉えられます。核兵器を保持し、核の威嚇によって覇権を維持しようとする勢力は、核兵器の廃絶を先延ばししようとし、核兵器を使用する戦争は、地球自体、地球環境自体を破壊します。</p> <p>核兵器は人類と共存することはできないという理解が広がっています。私たち人類は、国際紛争や戦争がなくなるまで、核兵器の廃絶を先延ばしすることはできません。宣言文（案）の「核兵器と戦争がなくなり」という表現は、核廃絶の先延ばしと誤って理解される恐れがあります。「核兵器と戦争」を分離し、「そして すべての核兵器をなくし戦争のない平和な世界になることを求め」と二つの段階が明確になるようにしたほうがよいと考えます。</p> <p>以上 4 点の修正を提案します。</p> <p>あきる野市の 30 年に及ぶ課題を、市民の心と知恵で、市職員の努力と学習で乗り越えようとしています。市議会での真摯な議論も期待しています。宣言文（案）の作成経過での誤りや不十分さは残念ですが、未来に引き継ぐ宣言として、見事にまとめ上げられたらと思います。宣言を発した後のあきる野市の平和事業が、大きくすすむことを期待したいと思います</p>	

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

- ・意見は、原則として、市に提出された順に掲載しています。
- ・意見は原文のまま掲載しています。ただし、個人が識別できる情報等や、個人または法人その他の団体の権利や利益を害するおそれがあるときなどは、意見の表現の変更等を行っています。
- ・市の考え方において、平和都市宣言文（案）は、宣言文（案）と表します。また、平和都市宣言文は、宣言文と表します。
- ・平和都市宣言文（案）には、「平和」（「」つき）と平和（「」なし）がありますが、市の考え方において、その両方を「平和」と表します。

番号	意見	市の考え方
68	<p>① 宣言文の表題を「あきる野市非核平和都市宣言」と「非核」を表明すること。 ② 宣言文の本文の最後の文章を「ここに、あきる野市が非核平和都市であることを宣言します」と「非核」の文字を入れること。 【その理由】 この意見募集にあたり、広報2023年12月15日号(No731)で「市は、自らが戦争の悲劇を繰り返さず、核兵器の廃絶と世界の平和を訴え続ける必要があることから、第2次あきる野市総合計画にも基づき、非核平和都市宣言を決定し、発信することになっています」としながら、宣言文(案)からは、「非核」の文言が抜け落ちています。 これまで、市議会で「非核都市宣言」を求める質問に対して、いろいろな理由をつけてそれを拒否してきた市政でしたが、前村木英幸市長は、市民が安心して暮らすためには、「平和を脅かす核兵器廃絶が必要不可欠」とのべ、第2次総合計画でも、今回の意見募集でも「非核平和都市宣言」と述べています。 ところが、宣言文(案)からは、「非核」の文言が抜け落ちてしまったのは、市政が中嶋市政に替わってしまったからではないでしょうか。 私は、地球上で人類が減びることになるのは、世界的な核戦争と地球温暖化への対応失敗だと思っています。 いま、世界は、2021年1月に発効した「核禁止条約」によって、人類史上初めて、核兵器を違法化する国際法が成立しました。世界は、いま「核兵器のない世界」への道を切り開く新しい時代に入りました。昨年12月には第2回締約国会議が開催され、批准国59ヶ国と、アメリカとの同盟国含めてオブザーバーとして35ヶ国が参加しました。世界的に「核兵器廃絶」、すなわち「非核」は大道となっています。 ただ、日本政府は、日米安保条約の下で、アメリカ言いなり、追従のみで、唯一の「被爆国」でありながら、オブザーバー参加すらしませんでした。この日本政府の態度は核兵器廃絶を求める世界の世論と被爆者を含めた非核平和を求める国民から失望と大きな批判にさらされています。 地方自治体は、憲法でも地方自治法でも、国と対等と定められています。しかも、市民の生命・財産を守ることに直接、日常的にかかわり、責任もっています。 自覚市長となり、国におもんばかって「非核」を宣言から取り除いたのだとしたら、市民が安心して暮らせる自治体という崇高な理念を投げ捨てることになってしまうと思います。よって、上記の「意見」といたします。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。 こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。 しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>
69	<p>戦争→戦争や紛争に変えた方がいいと思います。</p>	<p>市としましては、宣言文（案）における戦争には、国同士の戦争だけでなく、内戦やテロなども含めています。 しかしながら、「戦争」は、厳密に言えば、ある政治目的を達成するため、軍隊により、国同士が争うことであることから、宣言文（案）に内戦やテロを示すものとして「紛争」という言葉を加えます。 また、宣言文の紛争が内戦やテロなどを示すことについて、説明書きを加えることにします。</p>
70	<p>タイトルについて 「あきる野市平和都市宣言」を「あきる野市非核平和都市宣言」と「非核」を加筆してください。 理由はロシアがウクライナ戦争で核使用をほのめかし、北朝鮮が核兵器開発を急速にすすめ、さらに中東では核兵器保有国が戦争を引き起こしている世界情勢だからこそ「非核」を込めた宣言の意味があるからです。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。 こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。 しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>
71	<p>案を基本的に支持するとともに若干の加筆をお願いしたいと思います。（赤字） 『わたしたちが思う「平和」は 世界から戦争がなくなり みんなが安心して暮らせることです わたしたちの国は かつて原爆による想像もできない恐怖と惨禍を体験しました この事実を忘れず 未来に伝えていくことが わたしたちのつとめです わたしたちは 「平和」の尊さを理解し 多くの人と分かち合うことを大切にしていきます 世界から全ての核兵器と戦争がなくなり 世界が「平和」になることを求め ここに あきる野市が非核平和都市であることを宣言します』 あきる野市非核平和都市宣言</p>	<p>宣言文（案）は、子どもから大人まで、分かりやすい言葉を使っているため、「惨禍」という表現は、少し難しいと考えます。一方、「原爆」に関する表現については、様々な意見をいただいていることから、「原爆による苦しみや影響が今も続いている」ことを加えます。 「全ての核兵器と戦争がなくなり」を「世界から全ての核兵器と戦争がなくなり」と変えることについては、すぐ後の文から、世界からなくすことであることは読み取れるため、「全ての核兵器と戦争がなくなり」のままにします。 令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。 こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。 しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>
72	<p>ウクライナや、ガザなどの、ニュースを見るたび核兵器が使用されるのでは？と心配します。ですから、スローガンには是非とも核兵器廃絶の文字を入れて欲しいです。</p>	<p>宣言文（案）には、「全ての核兵器がなくなり」と、核兵器廃絶の考えを含めています。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

- ・意見は、原則として、市に提出された順に掲載しています。
- ・意見は原文のまま掲載しています。ただし、個人が識別できる情報等や、個人または法人その他の団体の権利や利益を害するおそれがあるときなどは、意見の表現の変更等を行っています。
- ・市の考え方において、平和都市宣言文（案）は、宣言文（案）と表します。また、平和都市宣言文は、宣言文と表します。
- ・平和都市宣言文（案）には、「平和」（「」つき）と平和（「」なし）がありますが、市の考え方において、その両方を「平和」と表します。

番号	意見	市の考え方
73	<p>あきる野市からこのような宣言を出すことはとてもよいことと思います。 原案となったものにいくつかの変更をしたり追加したらいいのではと、私の意見を書きます。 変更点を黄色マーカー、赤文字で書きます。 あきる野市非核平和都市宣言 宣言文（案） わたしたちが思う平和は 世界から戦争がなくなり みんなが安心して暮らせることです わたしたちの国は かつて原爆による想像もできない恐怖を体験しました 戦争は大きな苦しみと犠牲を多くの人々に強いました この事実を忘れず 未来に伝えていくことが わたしたちのつとめです わたしたちは 平和の尊さを理解し 多くの人と分かち合うことを大切にしていきます そして 全ての核兵器をなくし、戦争がなくなり 世界が平和になることを求め ここに あきる野市が非核平和都市であることを宣言します *****</p> <p>1 表題はあきる野市平和都市宣言からあきる野市非核平和都市宣言と、非核を入れる。 この問題はこれまでかなり長い間非核平和都市宣言として議論されてきているので、その流れに戻してほしい。また、近年、世界の国々や多くの人々の願いを元に2021年核兵器禁止条約が発効されました。このような時にできる宣言だからこそ、きっぱりと核兵器をなくす非核を市民の声を伝えたい。</p> <p>2 2段落目は私たちが未来に伝えていく勤めに関して。 原爆しかないの、戦争についても触れたい。 戦争は大きな苦しみと犠牲を多くの人々に強いました とても抽象的ですが、2段落目はとても可能性にあふれていて、小学校・中学校の学習でどれだけでも具体的に学べるチャンスへ繋がるのではないかと思います。</p> <p>3 平和に付いている「」をはずす。誤解をうみ、紛らわしい表現と思います。</p> <p>4 核兵器と戦争がなくなり、から 2つに分ける。→核兵器をなくし、戦争がなくなり 核兵器の非人道性はどんな場合でも誰が使ってもだめです。核抑止力や核の脅しが言われている今こそ、市民の声として伝えたいと思います。</p>	<p>1 令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。 こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「核兵器がなくなること」「戦争がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。 しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p> <p>2 宣言文（案）では、現在から未来に向け、核兵器がなく、戦争がなく、みんなが安心して暮らせる「平和」の実現を求める考えを表すことを基本としています。 ただし、日本がただ一つの戦争被爆国（戦争で核兵器が使われた国）であり、過去に原爆が使われたことを示すことで、核兵器がなくなることを求めていくことをより強く表現しています。</p> <p>3 かぎ括弧を付けた「平和」は、宣言文（案）における「平和」の考え方（「核兵器がなく」「戦争がなく」「みんなが安心して暮らせること」）を表しています。なお、「平和都市」は一つの言葉であることから、平和にかぎ括弧をつけていませんが、宣言文（案）における「平和」と同じ意味を示しています。</p> <p>4 核兵器と戦争の分離については、市としましては、「核兵器がなく」「戦争がなく」「みんなが安心して暮らせること」が揃った状態を「平和」としています。</p>
74	<p>私は、あきる野市平和都市宣言に全面的に賛成します。 今、世界各地で戦争が起きています。 そして核兵器が使われてる危険があります。 日本も核兵器禁止条約に加盟してほしい。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
75	<p>あきる野市平和都市宣言に寄せて</p> <p>私にとっての平和とは 玄関外の小さな鉢植えの季節の花が、我が家を訪れる人を迎えてくれる。 玄関の中に入ると、大小の孫たちの靴が、脱ぎ散らかっている。 部屋では孫たちがゲームで大騒ぎをしている。 婿さんはパソコンにむかっている。 娘は新聞を読んでいる。 私は台所でみんなの食べ残しを整理し、食器を洗っている。 そして「ばーば、洗いのご苦労さま!!」</p> <p>こんな何気ないに日々の繰り返し、こんな日々の連なりが私の平和です。</p> <p>こんな素晴らしい水の星「地球」に暮らす私たち、この私の小さな平和が、油平に広がって、あきる野市に、そして東京に、日本に、地球全体に広がってほしい。</p> <p>それには戦争がないこと、戦争のためのすべての武器を捨てること、企業はお金儲けのことばかり考えず、地球環境に有害なものを使わない、作らない、そして私たちも買わない、使わない。</p> <p>人間の心は優しい、頭は賢い、体は健康だ。その人間こそが戦争を無くし、無限の可能性と美しさを誇る地球を守ることができるのです。</p> <p>そして私たちは平和に生きていけるのです。</p> <p>以上</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
76	<p>あきる野市の平和都市宣言、待っていました。 ①あきる野市非核を入れてください。平和都市宣言 ②世界から戦争がなくなりやをなくしとしてください。 よろしくお願ひします。</p>	<p>① 令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。 こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。 しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p> <p>② また、「なくなり」を「なくし」と変えることについて、市としましては、『世界が「平和」になること』を実現するためには、世界各国の理解と協力の下、「戦争がなくなる」が必要であると考え、「なくなり」を使うことが一番良いと考えています。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

- ・意見は、原則として、市に提出された順に掲載しています。
- ・意見は原文のまま掲載しています。ただし、個人が識別できる情報等や、個人または法人その他の団体の権利や利益を害するおそれがあるときなどは、意見の表現の変更等を行っています。
- ・市の考え方において、平和都市宣言文（案）は、宣言文（案）と表します。また、平和都市宣言文は、宣言文と表します。
- ・平和都市宣言文（案）には、「平和」（「」つき）と平和（「」なし）がありますが、市の考え方において、その両方を「平和」と表します。

番号	意見	市の考え方
77	<p>提案されている非核平和都市宣言の文案 あきる野市平和都市宣言について、あきる野市民として賛成します。 「地球はひとつ」どこかの国で核兵器を使用すれば、地球全体が汚染されて人も生物も住めない地球になってしまいます。 原爆を落とされた唯一の国「日本」 たくさん人々が犠牲となって未だに心身の苦しみは癒えません。 核兵器を持つ国が核兵器をおどしに戦争を有利にしようとする事は許せません。 核兵器をなくして、紛争は話し合いで解決すべき、世界中の人々が平和に暮らせるように願っています。 あきる野市に生まれ育つ次世代を生きる子どもや若者が胸をはってすばらしい街だと思える、あきる野市に。 堂々とあきる野市平和都市宣言を掲げましょう！！</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
78	<p>・宣言文の内容から、題名を「平和都市宣言」ではなく「非核平和都市宣言」にすることはできないでしょうか。 ・近年の戦争や災害の報道、コロナ禍で困窮している人たちの暮らしに触れて、人間らしい暮らしの大切さを感じました。宣言文の、わたしたちが思う平和は 世界から戦争がなくなり「みんなが安心して暮らせることです」のところを、「みんなが人間らしく安心して暮らせることです」にしたいです。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であるという理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であるという理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。 こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。 しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>
79	<p>原案をもとに宣言文を作りました。 検討していただければ幸いです。 あきる野市非核平和都市宣言 わたしたちあきる野市民が願う平和は 世界中から戦争がなくなり みんなが安心して暮らせることです わたしたちの日本は かつて戦争と核兵器で大きな苦しみを味わいました いまも世界で戦争が起きています この事実を今と未来に伝えることが わたしたちのつとめです わたしたちは 平和の尊さを深く理解し 全ての人と分かち合うことを望みます そして 全ての核兵器と戦争がなくなり 世界が平和になることを求め ここに あきる野市が非核平和都市であることを宣言します</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であるという理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であるという理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。 こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。 しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。 また、いただいたご意見において、核兵器による影響を「苦しみ」としていることなどについて、原爆による影響は非常に大きいものであり、その影響が現在も続いていることを分かりやすく示すため、原爆による苦しみや影響が今も続いていることを加えます。</p>
80	<p>あきる野市平和都市宣言（案） わたしたちが思う平和は 世界から戦争がなくなり、みんなが安心して暮らせることです。 わたしたちの国は かつて中国大陸を侵略し、その後真珠湾を攻撃してしまいました。 第二次世界大戦です。 その結果原子爆弾による想像もできない恐怖を体験しました。 加害者という事実の反省のもとに戦争は二度とせんと誓い、平和憲法が誕生しました。憲法九条です。 わたしたちはこの憲法を守り、全ての核兵器を廃絶し、戦争のない平和な世界になることを願い、ここにあきる野市が平和都市であることを宣言します。</p>	<p>宣言文（案）では、現在から未来に向け、核兵器がなく、戦争がなく、みんなが安心して暮らせる「平和」の実現を求める考えを表すことを基本としています。 ただし、日本がただ一つの戦争被爆国（戦争で核兵器が使われた国）であり、過去に原爆が使われたことを示すことで、核兵器がなくなることを求めていくことをより強く表しています。</p>
81	<p>あきる野市平和都市宣言（案）に対する要望 あきる野市でも平和宣言が計画されていることを知って大変喜ばしく思い歓迎いたします、そのうえでいくつかの事項に対して検討をお願いいたします。 1、名称ですが「あきる野市非核平和都市宣言」としてはどうでしょうか。 2、世界から核兵器と戦争がなくなりみんなが安心して暮らせることです 以上2点を提案いたします、検討をお願いいたします。</p>	<p>1 令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であるという理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であるという理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。 こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。 しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。 2 「世界から核兵器と戦争がなくなり」「みんなが安心して暮らせる」という考え方は、宣言文（案）に含めています。</p>

- ・意見は、原則として、市に提出された順に掲載しています。
- ・意見は原文のまま掲載しています。ただし、個人が識別できる情報等や、個人または法人その他の団体の権利や利益を害するおそれがあるときなどは、意見の表現の変更等を行っています。
- ・市の考え方において、平和都市宣言文（案）は、宣言文（案）と表します。また、平和都市宣言文は、宣言文と表します。
- ・平和都市宣言文（案）には、「平和」（「」つき）と平和（「」なし）がありますが、市の考え方において、その両方を「平和」と表します。

番号	意見	市の考え方
82	<p>1. 宣言の文案について はじめに 提案されている宣言文は、文章が平易で分かり易く評価できると思います。 しかし、次の事柄を付け加えると、さらに良くなると思い提案します。</p> <p>1. 宣言の表題について 「あきる野市平和都市宣言」となっていますが、「非核」の2文字を平和の前に挿入し「あきる野市非核平和都市宣言」とすることで、今の時代に合致し且つ普遍的なものになると思います。なお、本文最後の行の「平和都市」の前にも「非核」を入れてください。 その理由は、 ①ロシアのウクライナ侵略やイスラエルのガザ地区への攻撃などで、ロシア、イスラエル双方の指導者が核兵器の使用をチラつかせることで相手を脅迫しています。 現在は第二次世界大戦後、核兵器使用の危険が最も高まっていると思います。文案本文でも「全ての核兵器と戦争がなくなり」と謳われています。宣言の表題に「非核」の2文字を付け加える事で、100年後、200年後のあきる野市にとっても、誇りある宣言文となると思います。</p> <p>②核の威嚇によるアメリカの政策をおもんぼかって、現在の日本政府が国際社会の中でも非核の立場をとっていないことは十分に承知しているつもりです。しかし、政府がそのような態度であっても、地方自治の精神に立てば、あきる野市が日本政府に付度する必要は全くないものと思います。</p> <p>2. 宣言文への加筆について 本文4行目の「かつて原爆による想像もできない恐怖を体験しました」とありますが、恐怖の前に「苦しみと」の4文字を挿入してください。 その理由は、 本文で述べていることは、あきる野市民の体験だけではなく「私たちの国は」となっており、広島、長崎の人たちも含まれています。そうだとすれば、原爆によって体験したのは精神的な「恐怖」だけではなく、肉体的な「痛み」や「苦しみ」だと思います。せっかく出来上がっている文章なので、「苦しみと」の4文字だけにしました。 以上</p>	<p>1 令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。 しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p> <p>2 原爆について、市としましては、原爆による影響を端的に表現するために、宣言文（案）において、あえて原爆が使われたときのこのみを示しておりました。 しかしながら、原爆による影響は非常に大きいものであり、その影響が現在も続いていることを分かりやすく示すため、原爆による苦しみや影響が今も続いていることを加えます。</p>
83	<p>2017年7月、国連総会で、核兵器禁止条約が成立し、2020年10月50か国の批准国が50か国に達し、成立。2021年1月に発効しました。世界で唯一の戦争被爆国である日本は、2017年の国連総会では反対し、条例成立後も、批准しようとしていません。日本政府は、核保有国と非保有国の橋渡しをしようとしているが、核廃絶のための行動は一つ行っていません。戦争被爆国である日本は、核兵器廃絶の先頭に立つことを国際的にも期待されているのに、日本政府の対応は、全く理解できません。今こそ、核兵器廃絶の先頭に立つべきです。</p> <p>いま、ロシアのウクライナ侵襲、また、イスラエルのガザ攻撃など、大変危機的な状況が続いています。その中で、核保有国は、「相手の国に核兵器を使わせないためには、核兵器で対応する準備をする必要がある。」という核抑止論の立場に立っています。今、現在アメリカは、5000発の核兵器を保有していると言われロシアが同じくらい、そして中国がそれに迫ろうとしています。そのような状況の下で、核をどうするのか、廃絶しか道はないことを全世界の人たちに訴えていかなければならないと思います。核廃絶を抜きにして、平和を論じることができません。</p> <p>今回の平和都市宣言ですが、市報の記事では、地の文では、「非核平和都市宣言」と書いてあるにもかかわらず、案文のタイトルは平和都市宣言となっているのはなぜでしょうか。 今こそ「非核」を明確に打ち出すことが何より獣医用と考えます。そこでお願いは、ひとつ、タイトルを「非核平和都市宣言」としてください。そうすることにより、「比較」をつまよう訴えることができると思います。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。 しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>
84	<p>あきる野市の宣言文案には「全ての核兵器と戦争がなくなり」とあり、広報の文面にも「第2次あきる野市総合計画に基づき、非核平和都市宣言を決定し、発信することとして」るのに、なぜ「あきる野市非核平和都市宣言」ではなく、「あきる野市平和都市宣言」となったのでしょうか？ 素朴な疑問です。調べてみましたが全国的にも都内にも多くの自治体が「非核平和都市宣言」をしています。 子どもにもわかりやすくした（？）としたらそれこそ子どもに対して失礼ですし、「非核平和」を学ぶことこそ世界の歴史と現状を踏まえ、これからの子どもたちに必要なことではないでしょうか。「わかりやすい表現」というのは、「安易な表現」ということではありません。宣言文面から大人も子どもも学ぶことのできる歴史で実証された事を表現することが大事だと思います。 今回そのほかに、敢えて「非核」の文字を消した理由があるのでしたらその説明が必要です。今まさに戦争が続いていて、核兵器の話題が出ている世界の現状の中で、うやむやにこの文言を削除することは許されたいはずで。 宣言文案は、「令和4年度実施した市民アンケート調査の結果を基本にまとめられた」と広報に書かれています。今回提出された意見を公表するのに合わせて令和4年度のアンケート調査の結果も公表していただきたいと思います。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。 しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。 また、市民アンケート調査の結果は、市ホームページでご覧いただくことができます。</p>
85	<p>戦争という選択肢を次世代に渡すことのない世界は、悲劇と増悪の連鎖を断ち切る唯一の道なのかもしれない 非核の道は、絵空事のように感じる… そう感じてしまうこの世界で 人類は、霊長類として、恒久平和という理想を放棄する自由も、環境を破壊し地球を死の惑星とする選択肢さえも、歴史から委ねられていると自覚するべきではないか？ 未来にバトンを手渡すということは、平和とともに、非核こそ、人類の種の保存という視点からも不可欠だと自覚と覚悟を持たなければならない すでに分岐点に我々は立っている。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
86	<p>被爆国で核の脅威は、誰もが知っております。そして、国連でも「核兵器禁止条約」が結ばれ広がっております。（世界で）長年願っていた、非核平和都市宣言が実現します。ぜひ、文面にあきる野市非核平和都市宣言にしていきたいと思います。宜しくお願いします。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。 しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

- ・意見は、原則として、市に提出された順に掲載しています。
- ・意見は原文のまま掲載しています。ただし、個人が識別できる情報等や、個人または法人その他の団体の権利や利益を害するおそれがあるときなどは、意見の表現の変更等をしています。
- ・市の考え方において、平和都市宣言文（案）は、宣言文（案）と表します。また、平和都市宣言文は、宣言文と表します。
- ・平和都市宣言文（案）には、「平和」（「」つき）と平和（「」なし）がありますが、市の考え方において、その両方を「平和」と表します。

番号	意見	市の考え方
87	<p>あきる野市平和都市宣言の宣言文（案）について ①第2次あきる野市総合計画に基づいた非核平和都市宣言の文案がやっと提案され、うれしく思います。 2点程意見があります。1点は市民アンケート調査の基本をふまえているのに非核平和都市宣言の大事な2文字「非核」がぬけてしまったのは、どうしてでしょうか。今の国際情勢をみましても、「非核」という2文字は大切な言葉ではないでしょうか？あきる野市平和都市宣言の中に、そして最後のあきる野市が～宣言しますの中に、しっかり「非核」の言葉を入れて下さい。 もう一点、この宣言文の文体は大変すばらしいと感じました。「子どもから大人まで共有できるよう、わかりやすい表現である」ととても良いと思いました。子ども達が大きな声で宣言する姿がうかびます。市民みんなで中味をしっかりとつくりたいと思います。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。 こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。 しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>
88	<p>宣言文案からは、あきる野市の主体性が全く見えてきません。あきる野市が世界平和実現のためにどのような基本的姿勢で何をしようとしているのかが明示されておらず、どの自治体でも掲げられるような抽象的で無難な内容となっているため、単なるきれいな事象を越えないものになっています。 文案には核被害国としての視点で原爆の恐ろしさが記されていますが、日本国が世界最大の核保有国である米国の核の傘の下にあり核兵器を背景に他国に脅威を与える立場に立っていることや、国連核兵器禁止条約については触れられていません。原爆の恐怖を未来に伝えていくことは大切ですが、それだけで核兵器と戦争が無くならないことは、現在の世界情勢を見れば明らかです。ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルのガザ侵攻・周辺国との武力衝突では核兵器の使用が懸念されています。戦争状態にある国家指導者に核兵器の恐ろしさを伝えるだけでは、核兵器と戦争はなくなりません。国連を中心とした核兵器廃絶の国際的な運動に積極的に参加し、核保有国に国際社会の圧力をかける実効的な道筋こそ、核兵器や戦争を無くす道です。あきる野市は国連の核廃絶の動きにどのような態度で臨むのでしょうか？ 宣言文には原爆の恐ろしさを「未来」に伝えていくことの重要性が強調されていますが、「未来」があって「現在」がありません。まるで、核兵器と戦争のない世界を彼岸の彼方に押しやっているかのような文章です。それは、核兵器と戦争が「なくなり」、世界が平和に「なる」といった受動的表現にも表れています。繰り返しますが、あきる野市の主体性がないのです。あきる野市の主体性を示すなら、「なくなり」ではなく「なくし」、「なる」ではなく「する」と宣言してしかるべきなのです。いったい、あきる野市は、現在の世界平和の危機的状況に対してどんな基本姿勢をもっているのでしょうか？世界平和実現に向けての基本方針を明確化し、それを宣言文に書かなければ具体的な行動にはつながらず、宣言はしたものの、具体的な行動が何もないということになりかねません。世界平和は誰もが望んでいることであって、あきる野市が世界平和実現への基本姿勢を示さないままにわざわざ平和都市を宣言することに意味があるとは思えません。平和都市を宣言するのであれば、あきる野市の基本姿勢を明示すべきだと考えます。あきる野市の基本姿勢は、アジア太平洋諸国への侵略で多大な犠牲を強いた反省に立ち、二度と戦争をしないという日本国憲法の平和主義に則ったものであるべきことは言うまでもありません。</p>	<p>市としましては、宣言を通じて、市内外で、本市の「平和」の考え方を分かち合いたいと考えており、子どもから大人まで、分かりやすい表現を心がけました。 また、市では、核実験など、市の平和に影響がある行いがあった場合は、抗議することなどを検討します。また、平和首長会議に加盟（参加）していますので、この平和首長会議を通じて、平和に関する取組などを行っていきます。 「原爆の恐ろしさを「未来」に伝えていくこと」の重要性につきましても、市としましては、現在に生きる私たちは、原爆の怖さを知っていると考えています。 また、「なくなり」を「なくし」と変えることについて、市としましては、『世界が「平和」になること』を実現するためには、世界各国の理解と協力の下、「戦争がなくなる」ことが必要であると考え、「なくなり」を使うことが一番良いと考えています。</p>
89	<ul style="list-style-type: none"> ・宣言文の表題は、「あきる野市非核平和都市宣言」とすること。 ・本文の最後の文章を「ここに、あきる野市が非核平和都市であることを宣言します」とすること。 <p>宣言文からわざわざ「非核」の言葉を抜かしたのはなぜでしょうか？広報の2023年12月15日号では「…非核平和都市宣言を決定し…」と、「非核」の言葉が入っています。 今や世界は「核兵器のない世界」に向かって大きく一歩を踏み出しています。2021年には、核禁止条約が発効し、批准国も増え続けています。地球上に核兵器が存在して、意図的にせよ偶発的にせよ万が一使われるようなことがあれば、人類は滅亡します。核兵器廃絶＝非核は世界の平和を願う人たちの常識であり、希望です。 宣言文の中にはきちんと核廃絶が表明されていますが、表題は内外にアピールするもので大切です。非核の文字を入れてください。最後の文も決意を表す大切な文だと思えます。非核の言葉は抜かしてはなりません。 以上、よろしく申し上げます。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。 こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。 しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>
90	<p>宣言（案）の中に「…全ての核兵器と戦争がなくなり…」とあるのにタイトルに核兵器を無くす「非核」が入って無いのは宣言文としてはアピールが弱い。堂々と『あきる野市非核平和都市宣言』と宣言した方が良い。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。 こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。 しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>
91	<p>あきる野市にもようやく宣言が実現することを安堵しています。ご尽力いただいた方々に感謝いたします。 「非核平和都市宣言」の定義の中に、地方自治体が自身を非核地帯と宣言するか、核兵器の廃絶を内外に訴える宣言を表明する事とあります。ここに照らすと、非核の文言がタイトルにないことはその意志が無いと取られかねません。是非、非核平和都市宣言として、未来ある子供達や若者の為に高らかに宣言してください。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。 こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。 しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>
92	<p>全体としてぼんやりしているの、きつぱりと何をすべきかを宣言した方がよい。 戦争が「なくなり」は主体性がない感じがする。 キーワードとして「憲法」「人権」は入れたい。 例えば・ 1行目→わたしたちは憲法で二度と戦争をしないことを誓いました。 2行目→世界では未だに戦争も核兵器もなくなっています。 7行目→「平和」な世界を作るため、力ではなく話し合っで決めることを大切にします。 8行目→そして世界中からすべての核兵器と戦争をなくし、すべての人々の人権が守られることを求めます。</p>	<p>市としましては、子どもから大人まで、分かりやすい表現を心がけました。 また、市が世界から戦争や核兵器をなくすことは難しいことから、宣言文（案）では、「（世界から）核兵器と戦争がなくなり、世界が平和になること」を求めていくという表現を使っています。 「憲法」「人権」について、令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。 こうしたことを考慮し、宣言文における「平和」は、「世界から核兵器と戦争や紛争がなくなり みんなが安心して暮らせること」としています。</p>

- ・意見は、原則として、市に提出された順に掲載しています。
- ・意見は原文のまま掲載しています。ただし、個人が識別できる情報等や、個人または法人その他の団体の権利や利益を害するおそれがあるときなどは、意見の表現の変更等をしています。
- ・市の考え方において、平和都市宣言文（案）は、宣言文（案）と表します。また、平和都市宣言文は、宣言文と表します。
- ・平和都市宣言文（案）には、「平和」（「」つき）と平和（「」なし）がありますが、市の考え方において、その両方を「平和」と表します。

番号	意見	市の考え方
93	<p>表題をあきる野市非核平和都市宣言にロシアのウクライナへの侵攻は、2年になろうとしています。プーチン大統領は、核兵器の使用をちらつかせ、そのことで周りの国の支援が遅れています。</p> <p>核兵器は、戦争の抑止力となるどころか、核兵器を持つことで自分勝手な理屈で戦争をすすめる道具にもなっています。核兵器と平和の問題は、ウクライナの事からも切り離すことはできません。だからこそ「平和都市宣言」は、「非核平和都市宣言」とし、表題は、主張がきちつと伝わり、わかるようにすべきです。</p> <p>一人ひとりの個人の力は弱くても、この宣言に沿って、多くの市民が参加できるような様々な活動を絶えず行っていけばと思います。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。</p> <p>しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>
94	<p>あきる野市平和都市宣言の宣言文（案）への要望</p> <p>【要望】</p> <p>宣言文(案)を読み、市の提案文がその考え方とともに、私たちの思いと共感でき、歓迎します。しかしながら重要な語句が抜けている部分があり、宣言文に書き入れといただきたく強く要望いたします。それは次の2か所です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.宣言文の表題を「あきる野市非核平和都市宣言」と「非核」を書き入れること。 2.本文の最後を「ここに、あきる野市が非核平和都市であることを宣言します」と「非核」を書き入れること。 <p>【意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.私たちあきる野原水協は1988年に結成し今日まで核兵器をなくすための署名、原水禁止世界大会への代表派遣、被爆者援護連帯などの活動を行ってきました。 2001年の市民憲章の決定にあたっては「平和を愛する全世界の人々と手を携えて、戦争と核兵器のない世界の建設に向けて力をつくす、誠実な街をつくります」と平和についての1項目を付け加えるよう提案しましたが採用されませんでした。また、2010年には「非核平和都市宣言」を求める再度の要請を行いました。そして第2次あきる野市総合計画に基づき非核平和都市宣言を決定し、発信することとなり、心から期待していたところです。 中嶋市長就任後に行った市民アンケートでは非核平和都市宣言について必要63.3%、必要ではない9.3%となっており、宣言に盛り込む内容も戦争・紛争の根絶50.0%、核兵器の廃絶47.8%であり、非核という言葉も削除する要素はありません。 あきる野市及び市議会は、例えば2016年の北朝鮮が行った核実験について敏感に反応し、抗議声明を発しています。それには「市民憲章において、世界平和と人権尊重を希求する旨を宣言」しているとし、平和と安定を脅かす核実験に抗議し二度と実施しないよう求めています。また、同年には核兵器廃絶の実現を目標に掲げた平和首長会に「市民憲章の趣旨にのっとり、平和首長会の活動に賛同」して市は率先して加盟しています。こうした経過を見ても、わざわざ「非核」を削除する所以はありません。 核兵器禁止条約が発効して今年で3年目に入り、世界の非核地帯が大きく広がっています。しかし、ロシアのウクライナ侵略では、ロシアによる核兵器使用の脅しやイスラエルによるガザ地区への核攻撃の示唆、北朝鮮は核開発に奔走するなど核兵器による抑止力の行使が現在の動きになっており、非核は喫緊の課題となっています。今こそ非核が重要な意味を持っています。 このような状況を見るとき、ことさら非核を外すのは何か特別の事情があるのかと思ってしまう。どうか宣言に非核を残してほしいと強く要望する次第です。 <p>以上</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。</p> <p>しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>
95	<p>意見</p> <p>タイトルに「非核」を入れてください。また、宣言文(案)本文の最後の行を「ここに あきる野市が非核平和都市であることを宣言します」に改めてください。</p> <p>理由</p> <p>宣言文(案)のタイトルは「あきる野市平和都市宣言」となっています。「非核」が抜けています。12月15日号の広報には「市は、自らが戦争の悲劇を繰り返さず、核兵器の廃絶と世界の平和を訴え続ける必要があることから、第2次あきる野総合計画に基づき、非核平和都市宣言を決定し、発信することとしています。」とあります。なぜ、「非核」が外されてしまったのでしょうか。</p> <p>世界の流れは核兵器の廃絶です。世界の多くの国々が「核なき世界」を求めています。このことは、2017年7月に「核兵器禁止条約」が122か国の賛成を得て、国連で採択されたことが証明するものです。そして、2021年1月に核兵器禁止条約が発効し、現在、核兵器禁止条約の署名国が93か国・地域、批准国は69か国・地域と大きく広がっています。残念なことに、日本の政府はこれに背を向けています。それだけではなく、「核抑止論」を強調し、核兵器廃絶の立場に立とうとしません。非常に残念なことです。</p> <p>ロシアのウクライナ侵攻では、ロシアが核による威嚇を繰り返しています。イスラエルもガザ地域への核攻撃も選択肢であるという発言がありました。世界がこうした状況であるからこそ、「非核」を外してはならないと思い、意見といたします。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。</p> <p>しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>
96	<p>あきる野市平和都市宣言の宣言文についての意見とお願い</p> <p>私は30年以上にわたって核兵器廃絶の運動に参加してきました。13年前にニューヨークで行われたNPT再検討会議に向けてあきる野市で集めた核廃絶の署名4408筆を国連に届け、ニューヨーク市民に「核廃絶」をアピールする行動に参加しています。今日では毎月、核兵器をなくす署名行動などを行っています。そして、あきる野市が非核平和都市宣言することを首を長くして待ち焦がれていました。この度、あきる野市が「第2次あきる野市総合計画に基づき、非核平和都市宣言を決定し、発信すること」としたことを大いに歓迎し、これまでの活動の一つが実を結び喜んでいました。</p> <p>ところが、市が発表した宣言文（案）は「あきる野市平和都市宣言」となっており、本文中も「平和都市」と、非核の言葉が削除されており、大変驚きました。宣言文（案）は、平和の文言を3か所に使い、被爆の実相を未来に伝え、核兵器と戦争がなくなることを求めることと端的に表現し、共鳴できる文になっています。ところが宣言の主題に非核がなくなっています。これは、中嶋市政になってから行った市民アンケートの結果からも逸脱しています。中嶋市政になって市の基本姿勢が変わったからなのでしょうか。“核兵器をなくし平和国家を守るために「アメリカの核の傘に入り」核抑止力を使う、そのために核兵器禁止条約にも反対する”というような意図をもって“核兵器と戦争がなくなることを求めるが、今は核兵器を否定しない”だから「非核」を削除したのですか。広島、長崎の市長は核抑止力を否定しましたが、今や核で平和を守ることはできません。ロシアがウクライナを核で脅し、イスラエルはガザ地区で核兵器をつかうと発言し、北朝鮮は核開発を進めミサイル発射実験を繰り返しています。核兵器は絶対使わせてはなりません。今日こそ地方自治体も非核を主張する必要があります。非核を削除しないでください。「あきる野市非核平和都市宣言」との市民の意思を書き記してください。どうぞよろしくお願いたします。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。</p> <p>しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

- ・意見は、原則として、市に提出された順に掲載しています。
- ・意見は原文のまま掲載しています。ただし、個人が識別できる情報等や、個人または法人その他の団体の権利や利益を害するおそれがあるときなどは、意見の表現の変更等を行っています。
- ・市の考え方において、平和都市宣言文（案）は、宣言文（案）と表します。また、平和都市宣言文は、宣言文と表します。
- ・平和都市宣言文（案）には、「平和」（「」つき）と平和（「」なし）がありますが、市の考え方において、その両方を「平和」と表します。

番号	意見	市の考え方
97	(案)に書かれたような平易な文体は良いと思います。このふるさとの「平和宣言」を子供の頃から見、聞き、ロザさみ、胸に刻んで育てば、世界の人達と仲良く交流していく大人に成長していくことでしょう。すでに大人になっている人達も自分の街に誇りを持ち、次代の子どもたちに力強く安心してバトンを渡していけるでしょう。一方現在の世界を見据えた時、最も恐ろしいのは「核兵器」です。私達はこれを絶対に持たず、またその脅しに屈しない、非核三原則に基づいた「平和宣言」をすべく、ぜひ頭に「非核」と加えてほしいです。ただの「平和宣言」ですと、文中に「平和」や「原爆」「核兵器」という言葉が使われながらも、綿あめのように甘く、時と共に溶けてしまうようなひ弱で、形だけの宣言にしか聞こえません。タイトルを見て、普通人は興味関心を寄せます。だからタイトルは重要です。タイトルにはエキスを込められているのです。世界唯一の原爆・被爆体験から学んだ歴史を生かし、世界に人間の英知と理念をもって訴えられるような「宣言」とすべく「あきる野市非核平和都市宣言」として堂々と宣言したいと思います。私もその一員になりたいです。	令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。
98	あきる野市平和都市宣言 を あきる野市非核平和都市宣言 と替えて下さい	令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。
99	宣言文は表題も含めて市のメッセージを発信するためのものである。今回のパブリックコメントの募集にあたって、市も「市自らが、戦争の悲劇を繰り返さず、核兵器の廃絶と世界の平和を訴え続ける必要があることから、非核平和都市宣言を決定し、発信することとしています。」としています。表題からあえて「非核」を除けば、あきる野市は「核兵器の廃絶には消極的なのか。」という間違ったメッセージを発信することとなる。また、「非核平和都市宣言」は、非常に多くの自治体が行っている宣言であり少しもわかり難くない。表題を非核平和都市宣言とすべきである。 別件であるが、パブリックコメントは市民の意見を吸い上げる重要なツールなので、あきる野市のホームページを開いたら、すぐに目につく場所に掲載すべきである。市民に検索させるようでは困ります。	令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。 また、パブリックコメントの結果は、市ホームページ下部の市民の声からご覧いただけます。また、掲載された時には、「お知らせ」に表示されるようにする予定です。
100	宣言の表題を「非核平和都市宣言」として下さい。 世界で起こっている、起こってきた戦争・争いは【平和のため】を口実に！自国、自分の平和では紛争はなくなりません。核兵器の使用をちらつかせ、今戦争が起こっています。 【非核】は必要です。	令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。
101	「平和都市宣言」ではなく「非核平和都市宣言」にすべきです。 世界に暴力や不安が満ちている今、声高に比較を主張すべきだと考えます。	令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。
102	あきる野市平和都市宣言の宣言文（案）への意見 あきる野市非核平和都市宣言 宣言文（案） わたしたちが思う平和は 世界から戦争がなくなり みんなが人間らしく安心して暮らせることです わたしたちの国は かつて原爆による想像もできない恐怖を体験しました その後 世界では水爆の開発や実験による多くの被害者も出ています この事実を忘れず 未来に伝えていくことが わたしたちのつとめです わたしたちは 平和の尊さを理解し 多くの人と分かち合うことを大切にしています そして 全ての核兵器をなくし 戦争のない平和な世界になることを求め ここに あきる野市が非核平和都市であることを宣言します 意見 1. 宣言文の表題を「あきる野市非核平和都市宣言」と「非核」を表明してください。 2. 宣言文に下線部分を入れてください。 3. 宣言文の本文の最後の文章を「ここに 非核平和都市であることを宣言します」と「非核」の文字を入れてください。 理由 1 2月15日付の広報で「市は、自らが戦争の悲劇を繰り返さず、核兵器の廃絶と世界の平和を訴え続ける必要があることから、第2次あきる野市総合計画に基づき、非核平和都市宣言を決定し、発信することとしています。」と案内しています。その通りして下さい。世界を見ればロシア・プーチン大統領のウクライナに対する核威嚇、イスラエルによるガザへの「核攻撃」発言と核兵器使用の危険が高まってきており恐怖さえ覚えます。 今、世界から核兵器をなくすことが急務であることは必然です。この宣言文から、「非核」の文字を抜くことはありえません。	1と3 令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。 2 「人間らしく」を追加することについては、「安心して暮らせる」の中に、人間らしく暮らすという考えも含めています。 「水爆の開発や実験」を追加することについては、宣言文（案）では、現在から未来に向け、核兵器がなく、戦争がなく、みんなが安心して暮らせる「平和」の実現を求める考えを表すことを基本としています。 ただし、日本がただ一つの戦争被爆国（戦争で核兵器が使われた国）であり、過去に原爆が使われたことを示すことで、核兵器がなくなることを求めていくことをより強く表しています。 『全ての核兵器と戦争がなくなり 世界が「平和」になること』を「全ての核兵器をなくし 戦争のない平和な世界になること」については、宣言文（案）では、「核兵器がなく」「戦争がなく」「みんなが安心して暮らせること」が揃った状態を「平和」としています。

- ・意見は、原則として、市に提出された順に掲載しています。
- ・意見は原文のまま掲載しています。ただし、個人が識別できる情報等や、個人または法人その他の団体の権利や利益を害するおそれがあるときなどは、意見の表現の変更等を行っています。
- ・市の考え方において、平和都市宣言文（案）は、宣言文（案）と表します。また、平和都市宣言文は、宣言文と表します。
- ・平和都市宣言文（案）には、「平和」（「」つき）と平和（「」なし）がありますが、市の考え方において、その両方を「平和」と表します。

番号	意見	市の考え方
103	<p>あきる野市平和都市宣言」の中にぜひ「非核」の一言を入れてください。 ロシアのプーチン大統領は核使用をほのめかしてウクライナを攻めています。</p> <p>また、北朝鮮も核実験やミサイル発射を繰り返しています。このような状況のもとで市民アンケートの結果も踏まえて「非核」の文言を入れる大きな意味がありますのでよろしくをお願いします。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。</p> <p>しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>
104	<p>あきる野市平和都市宣言（案）を読みました。</p> <p>素晴らしいことです。</p> <p>この宣言が、未来に続く子ども達に引き継がれ、戦争の悲惨さと平和の尊さを学び、安心して暮らせるまちづくりの指針となることを願っています。</p> <p>疑問なのは、広報の説明文に核兵器廃絶、非核平和都市宣言を決定し、発信することになっています。</p> <p>と、書かれていますが、宣言そのものに、非核が抜けています。</p> <p>何故でしょうか？</p> <p>宣言文にも、核兵器と戦争がなくなり、と書かれています。</p> <p>いかなる核兵器の脅威をもたらせないために、非核平和都市宣言にしてください。よろしくをお願いいたします。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。</p> <p>しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>
105	<p>あきる野市平和都市宣言の宣言文（案）に対する意見</p> <p>東京都ではブービー賞ともいえる、ようやくの宣言。その文面を楽しみにしていただけに、「なにコレ？」「チャチィ！」とがっかりさせられた。</p> <p>●理由は以下。</p> <p>① 「非核」の文言不在、および宣言文として「非核」に対する決意の欠如</p> <p>② 内容の稚拙さ・乏しさ</p> <p>12/15 企画政策課に作成趣旨と経緯を尋ねた。</p> <p>「平和をつないでいくのは子どもたち。小3の子どもにも理解できる内容にした。他自治体の宣言文も参考にしながら、かなり工夫した。etc.・・・」と言われた。</p> <p>●以下補足</p> <p>① 非核平和都市宣言とは、「地方自治体が行政区域内を非核地帯、または非核を目指す」と明確に宣言するか、核兵器の廃絶を内外に訴える宣言を表明すること」と認識している。</p> <p>・パプコメ募集案内には「核兵器の廃絶と世界の平和を訴え続ける必要があることから、非核平和都市宣言を決定し発信する・・・」とあるが、本文に「非核」または「核兵器廃絶」の文言が一切使われていないのはなぜか？ 意図的か否かは不明だが、意図的であるとすれば明確な説明をいただきたい。</p> <p>・「全ての核兵器と戦争がなくなり世界が平和になることを求め」とあるが「求める」では単なる「願い」の域を超えない。「あきる野市が非核平和都市であることを宣言する」と結べばその限りでない。いずれにせよ「非核」の決意が文面からみて取れない。</p> <p>② 子どもから大人まで共有できる表記、あるいは字数や漢字にも制限を設けつつ作成したとする意図はわかった。対象が子どもでなくとも、今は平易な文章が好まれる。文章の形式を否定する気はないが、内容に奥深さがない。哲学的とまでは言わないが、せめて歴史を彷彿とさせる部分も欲しい。また子どもたちに読みやすく・わかりやすくという発想に対し、私は反対する。難しい文章であつたら、学校や家庭で、ともに学べばよいと思う。学ぶ機会が設けられ、かつその学習過程で得られるものは計り知れない。学習の幅は大いに広がり、平和教育の一翼を担う。</p> <p>・「平和」を連発しているが、平和って何？ が連想できない。平和とは必ずしも戦争の無い状態ではない。しかし、紛争や戦渦の子どもたちにとっての平和は、逃げ惑うことなく自由にどこにでも行け、権力者からの抑圧を受けず自由に発言でき、平穏な日々を送れることだそう。</p> <p>・「安心して暮らせる」どんな安心か？ 安心という言葉がふさわしいか。</p> <p>・「想像もできない恐怖を体験」原爆を、単に恐怖体験という言葉で片付けるのか？ 恐怖という言葉がふさわしいか。</p> <p>・「平和の尊さを理解し」尊さとは？ 宣言文全体に、尊さを感じさせるくだりがない。</p> <p>平和・安心・恐怖・尊さと、尤もらしい単語が並ぶが、内容的に薄っぺらな印象を受ける。</p> <p>字数制限を行った様だが、似た文言の繰り返しがあるため、より稀薄な内容となっている。</p> <p>このような作文では、子ども時代に親から書き直しをさせられた記憶が・・・（笑）</p> <p>●以下を柱だてに再考いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恒久平和を崇高な理念とし憲法に掲げていることの重要性 ・基本的人権・民主主義が尊重され、平和のうちに生きるとはどういうことか。 ・唯一の「戦争被爆国」である日本ができること、すべきことは何か ・非核三原則は国是。非核自治体として「今」あきる野市が宣言することの意義 <p>また、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宣言をするときの時代背景を考慮してもいいのではないか。 ・・・2021年核兵器禁止条約発効 2025年は戦後80年 現在の国際情勢等 <p>※ある論文によると、非核都市宣言の内容として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非核三原則の実施・軍縮・核廃絶を訴えるもの ・被爆体験、日本国憲法に基づく恒久平和、地方自治を盛り込んだもの ・核兵器の生産・配備・通過を許可しないといった具体的な事項を備えたもの ・自治体の文化や地理的・軍事的環境を盛り込んだもの・・・原子力発電の核物質の規制、軍事演習に踏み込んだものもあるらしい。 <p>●おわりに</p> <p>1970年代～80年代にかけ核競争がエスカレートし、それに伴い世界で反核・平和運動が盛り上がり始めた。日本でもSSDⅡをきっかけに反核機運が高まり、核戦争への不安や軍事化の進展なども並走。1980年代に非核宣言を行う自治体が急増したのは、非核・平和の実現への努力を国家や政府がしない、あるいはできないのであれば、自治体から市民の力でそれを実現していこうという発想に基づくもの。地方自治体が世論の集約的な表現の一つとして、国政に対し意思表示の意義を見出すことが挙げられる。保守派や自民党の圧力を受けつつ、多くの自治体が宣言を行った歴史を考えると、40年たった現在、今、あきる野市が宣言する意義をやはり明確にしてほしいと思う。単にシンボルとしての宣言であったり、政府の顔色を見ての宣言でないことを願う。</p> <p>以上</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。</p> <p>しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p> <p>宣言文（案）は、子どもから大人まで、分かりやすい表現を心がけました。</p> <p>また、市としましては、原爆による影響を端的に表現するために、宣言文（案）において、あえて原爆が使われたときのことのみを示しておりました。</p> <p>しかしながら、原爆による影響は非常に大きいものであり、その影響が現在も続いていることを分かりやすく示すため、原爆による苦しみや影響が今も続いていることを加えます。</p> <p>「求める」を使っている意図としまして、市としましては、『世界が「平和」になること』を実現するためには、世界各国の理解と協力が必要であることから、「求める」としています。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

- ・意見は、原則として、市に提出された順に掲載しています。
- ・意見は原文のまま掲載しています。ただし、個人が識別できる情報等や、個人または法人その他の団体の権利や利益を害するおそれがあるときなどは、意見の表現の変更等を行っています。
- ・市の考え方において、平和都市宣言文（案）は、宣言文（案）と表します。また、平和都市宣言文は、宣言文と表します。
- ・平和都市宣言文（案）には、「平和」（「」つき）と平和（「」なし）がありますが、市の考え方において、その両方を「平和」と表します。

番号	意見	市の考え方
106	<p>原案には、何故、「非核」がついていないのか？ 平和都市宣言ではなく、ここは、非核平和都市宣言、にすべきだと考えます。</p> <p>文面の「平和」と、カギ括弧で括られる意味が、私には分かりません。 カギ括弧無し、平和、で良いのでは、と思います。 以上</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「核兵器がなくなること」「戦争がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。</p> <p>しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p> <p>かぎ括弧を付けた「平和」は、宣言文（案）における「平和」の考え方（「核兵器がなく」「戦争がなく」「みんなが安心して暮らせること」）を表しています。なお、「平和都市」は一つの言葉であることから、平和にかぎ括弧をつけていませんが、宣言文（案）における「平和」と同じ意味を示しています。</p>
107	<p>東京で非核平和都市宣言がないのは、あきる野と檜原のみです。</p> <p>核の悲劇を二度と繰り返す事がないように国際社会の一員として、国際平和を希求し核兵器の廃絶を訴えるとともに、みどり豊かな郷土と平和なまちを次代に引き継ぐため、非核平和都市を宣言してください。</p> <p>市長は子育てで世代を増やしたいとタウンミーティングでお話していたので、その子育て世代、またその子供達が安心して暮らしていける世界になるように非核平和都市宣言をあきる野市として掲げて下さい。</p> <p>非核平和都市宣言を宣言しないのならなぜしないのか理由が知りたいです。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。</p> <p>しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>
108	<p>宣言文の内容から、題名を「平和都市宣言」ではなく「非核平和都市宣言」にしてほしいです。近年の戦争や、災害の報道に触れて 人間らしい暮らしの大切さを感じています。宣言文に「みんなが人間らしく安心して暮らせることです」にしてほしいです。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。</p> <p>しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>
109	<p>宣言文（案）を拝見しました。とてもわかりやすく、心のこもった宣言文だと思いました。この宣言文をあきる野市が出すことに賛同致します。</p> <p>ただ、ひとつだけ残念なのは、せつかく文章の中に核兵器廃絶の思いが込められているのに、「核兵器廃絶」「反核兵器」「非核」などの言葉がタイトルにないことです。</p> <p>実は、先日、たまたま日野市役所に行くことがあったのですが、市庁舎の正面に幅50センチ、高さ3メートル程で「核兵器廃絶・平和都市宣言 昭和五十七年十月八日 日野市」という表示があるのを見ました。</p> <p>この「核兵器廃絶」という言葉があるか、ないかは大間違いだと思います。1945年8月6日のヒロシマ、8月9日のナガサキにおける、老若男女の一般市民が火の海の中で殺され、後々まで放射能で苦しめられ殺されたという事実を忘れないという決意が伝わってきます。また、それは1945年3月10日、一晩に10万人もの人たちが殺された東京大空襲の記憶にも繋がっているように思えます。</p> <p>ぜひ、「核兵器廃絶」「反核兵器」「非核」などの言葉を入れていただき、市庁舎正面に大きく掲げていただきたいと思います。</p> <p>以上</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。</p> <p>しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p> <p>また、宣言文のお知らせの方法については、今後検討します。</p>
110	<p>あきる野市で子育て中の主婦です。</p> <p>今なお世界においては、核兵器の脅威をはじめ、悲惨な争いがあとをたたく、平和を願う私達を脅かしています。</p> <p>世界の唯一の核被爆国として、この地球上に広島・長崎の惨禍を再び繰り返さないため、平和憲法の精神を永遠に遵守し、あらゆる国のあらゆる核兵器廃絶と世界の恒久平和実現への願いを込めて、「非核平和都市」を宣言してください。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。</p> <p>しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p>
111	<p>戦争が無くなるだけでなく、全ての人が安心して暮らせる社会をつくりたい。</p> <p>人間が、みんな、なかよくできるようになるとよい。</p> <p>人間だけではなく、動物や自然となかよくなり、みんな大事にする世界をつくる。</p> <p>人間だけの国や人のことを知り、理解することが大事。</p> <p>おたがいの国や人を奪い合うのではなく、助け合って生きる社会にしたい。</p> <p>資源や食べ物を奪い合うのではなく、助け合って生きる社会にしたい。</p> <p>戦争や争いで、建物や自然を破壊し、土地や人の命を奪うのではなく、同じ人間としてみんなが幸せになれるように考えていく。</p> <p>自然災害も数多く発生する中、人間が食い止められることは何か。争っている場合ではない。災害が起こってから助け合う姿が見られるが、普通のときも、その気持ちを大切にしていきたい。いつも自分のこととして考えることが大事。</p> <p>薬物使用も恐怖であり、なくしていきたい。</p> <p>かつて日本は原爆の恐怖を体験した。日本も他の国に恐怖を与える存在だった。この事実を未来に伝え、このようなことが起こらないために、一人一人が自分のこととして考えていかななくてはならない。</p> <p>話し合いで、戦争を終わらせてほしい。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことを考慮し、宣言文における「平和」は、「世界から核兵器と戦争や紛争がなくなり みんなが安心して暮らせること」としてしています。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

- ・意見は、原則として、市に提出された順に掲載しています。
- ・意見は原文のまま掲載しています。ただし、個人が識別できる情報等や、個人または法人その他の団体の権利や利益を害するおそれがあるときなどは、意見の表現の変更等を行っています。
- ・市の考え方において、平和都市宣言文（案）は、宣言文（案）と表します。また、平和都市宣言文は、宣言文と表します。
- ・平和都市宣言文（案）には、「平和」（「」つき）と平和（「」なし）がありますが、市の考え方において、その両方を「平和」と表します。

番号	意見	市の考え方
112	<p>平和を愛する一市民として僭越ながら意見を述べさせていただきます。</p> <p>・「市では、第2次あきる野市総合計画に基づき、市自らが、戦争の悲劇を繰り返さず、核兵器の廃絶と世界の平和を訴え続ける必要があることから、非核平和都市宣言を決定し、発信することとしています。」とありますが、宣言文（案）は「あきる野市平和都市宣言」となっており「非核」がなくなっています。なぜでしょうか。「自明だから」ということなのかもしれませんが、宣言文の内容的にも明確に文言として入れるべきだと考えます。</p> <p>・内容として、「非核」と「平和」の二点は両輪であり、別物であると考えます。「非核」に関しては、唯一の被爆国として強く核兵器の愚かさを未来に伝えていくこと。「平和」に関しては、戦争の当事国として、被害と加害両方の事実を忘れず、戦争の愚かさを未来に伝えていくこと。宣言文の中には、原爆の恐怖については具体的に明記されているものの、戦争については表記が少なく思います。短くわかりやすさを重視したのだと思いますが、例えば二段落目の部分「かつて原爆による想像もできない恐怖を体験しました」と「この事実を忘れず 未来に伝えていくことが わたしたちのつとめです」の間に、「戦争によりたくさんの命をうばい うばわれました」との文言を付け加えることを望みます。「被虐史観」と思われる方もおられますが、悲観するのでも目を背けることでもなく正しく知り伝えていくことこそ平和への第一歩だと考えます。</p> <p>・平和のために「多くの人と分かち合うことを大切に」することはとても意義のある事だと思います。宣言が完成した暁には、子どもたちを含め多くの世代の人々とともに、この宣言を基にした平和に関する事業（講演や展示などの受け身ではなく、参加交流型のもの）を行うことも考えていただきたいと思います。</p> <p>以上です。ご検討何卒よろしくお願い申し上げます。</p>	<p>令和4年度に行った市民アンケート調査では、日本が平和であると思う理由として「戦争状態にないため」、平和に関する都市宣言の決定・発信が必要であると思う理由として「核兵器の脅威や平和の尊さを市全体で共有できるため」という回答が多くなっています。</p> <p>こうしたことをきっかけに、市としましては、宣言文（案）では、世界が平和になるためには、「戦争がなくなること」「核兵器がなくなること」「みんなが安心して暮らせること」が一体的に実現されることが適切であると考え、宣言文（案）における平和に「非核（核兵器がなくなる）」の意味を含めることとしました。</p> <p>しかしながら、タイトルを含めた宣言文（案）の平和の考え方をより分かりやすくする必要があると考え、宣言文（案）の2行目に「核兵器」を加えます。</p> <p>宣言文（案）では、現在から未来に向け、核兵器がなく、戦争がなく、みんなが安心して暮らせる「平和」の実現を求める考えを表すことを基本としています。</p> <p>ただし、日本がただ一つの戦争被爆国（戦争で核兵器が使われた国）であり、過去に原爆が使われたことを示すことで、核兵器がなくなることを求めていくことをより強く表しています。</p> <p>平和に関する取組などにつきましては、当市は、平和首長会議に加盟（参加）していますので、この平和首長会議を通じて、平和に関する取組などを行っていきます。</p>